

事務事業	10010	乳幼児健診・相談事業	担当課 課長	健康課 作本 和美	担当係 担当者	健康管理係 森近 修子
計後 画期 体計 系画	施策	05 子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予算科目	会計	1	一般会計
				款	4	衛生費
				項	1	保健衛生費
				目	3	母子衛生費
			基本事業			
法令根拠条例等		母子保健法	個別計画	健康増進計画「健康しめ21」		
実施期間	<input type="checkbox"/> 28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		S36 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) <乳幼児健診事業>4か月・1歳6か月の子に対し月1回、3歳児健診のみ年14回実施。身体計測、医師・歯科医師(1歳6か月児、3歳児のみ)による診察、保健師による育児相談、管理栄養士による栄養相談、その他専門職による相談(歯科衛生士・心理相談員(1歳6か月児・3歳児のみ))を実施。 <相談事業>10か月児に対し月1回実施。身体計測・保健師による成長発達の確認・育児相談、歯科衛生士による相談・指導を行う。希望者には管理栄養士による栄養相談も実施。	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)	
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 健診・相談事業の2週間前に対象者に通知。受付事務、看護師による身体計測・診察時の介助や呼び出し、保健師による問診・相談、管理栄養士による相談。 年度末に次年度の日程作成、医師・歯科衛生士等の手配。 健診後のフォローや未受診者に対する受診勧奨のための電話相談や来所相談等。	主な事業費の内訳	
	乳幼児健康診査委託料	3,336 千円
	嘱託員報酬	3,024 千円
	保健事業補助業務委託料	379 千円
	消耗品費	354 千円
	車借上料	169 千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・4か月、1歳6か月児健診は月1回 計24回 ・3歳児健診は年14回実施 ・10か月児相談は月1回 計12回	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 健診実施数</td> <td>回</td> <td>50</td> <td>51</td> <td>51 (見込)</td> </tr> <tr> <td>イ 健診受診者数(合計)</td> <td>人</td> <td>1,981</td> <td>1849</td> <td>1,800 (見込)</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(見込)</td> </tr> </tbody> </table>					名称	単位	27年度	28年度	29年度	ア 健診実施数	回	50	51	51 (見込)	イ 健診受診者数(合計)	人	1,981	1849	1,800 (見込)	ウ				(見込)																																					
		名称	単位	27年度	28年度	29年度																																																									
		ア 健診実施数	回	50	51	51 (見込)																																																									
		イ 健診受診者数(合計)	人	1,981	1849	1,800 (見込)																																																									
		ウ				(見込)																																																									
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 4か月児数</td> <td>人</td> <td>475</td> <td>414</td> <td>400 (見込)</td> </tr> <tr> <td>イ 10か月児数</td> <td>人</td> <td>495</td> <td>422</td> <td>400 (見込)</td> </tr> <tr> <td>ウ 1歳6か月児数</td> <td rowspan="2">人</td> <td>537</td> <td>481</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>3歳児数</td> <td>474</td> <td>509</td> <td>450 (見込)</td> </tr> </tbody> </table>					名称	単位	27年度	28年度	29年度	ア 4か月児数	人	475	414	400 (見込)	イ 10か月児数	人	495	422	400 (見込)	ウ 1歳6か月児数	人	537	481	400	3歳児数	474	509	450 (見込)																																			
名称	単位	27年度	28年度	29年度																																																											
ア 4か月児数	人	475	414	400 (見込)																																																											
イ 10か月児数	人	495	422	400 (見込)																																																											
ウ 1歳6か月児数	人	537	481	400																																																											
3歳児数		474	509	450 (見込)																																																											
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ア 4か月児受診率</td> <td>目標</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>99.4</td> <td>92.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">イ 10か月児受診率</td> <td>目標</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>93.2</td> <td>93.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ウ 1歳6か月児受診率</td> <td>目標</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>93.2</td> <td>97.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">エ 3歳児受診率</td> <td>目標</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>99.0</td> <td>96.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オ 乳幼児健診の平均受診率</td> <td>目標</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>96.2</td> <td>95.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">カ 痩身及び肥満傾向以外の子供の割合(3歳児)</td> <td>目標</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>99.8</td> <td>96.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名称	単位	27年度	28年度	29年度	ア 4か月児受診率	目標	100.0	100.0	100.0	実績	99.4	92.8		イ 10か月児受診率	目標	100.0	100.0	100.0	実績	93.2	93.2		ウ 1歳6か月児受診率	目標	100.0	100.0	100.0	実績	93.2	97.8		エ 3歳児受診率	目標	100.0	100.0	100.0	実績	99.0	96.4		オ 乳幼児健診の平均受診率	目標	100.0	100.0	100.0	実績	96.2	95.0		カ 痩身及び肥満傾向以外の子供の割合(3歳児)	目標	100.0	100.0	100.0	実績	99.8	96.9	
名称	単位	27年度	28年度	29年度																																																											
ア 4か月児受診率	目標	100.0	100.0	100.0																																																											
	実績	99.4	92.8																																																												
イ 10か月児受診率	目標	100.0	100.0	100.0																																																											
	実績	93.2	93.2																																																												
ウ 1歳6か月児受診率	目標	100.0	100.0	100.0																																																											
	実績	93.2	97.8																																																												
エ 3歳児受診率	目標	100.0	100.0	100.0																																																											
	実績	99.0	96.4																																																												
オ 乳幼児健診の平均受診率	目標	100.0	100.0	100.0																																																											
	実績	96.2	95.0																																																												
カ 痩身及び肥満傾向以外の子供の割合(3歳児)	目標	100.0	100.0	100.0																																																											
	実績	99.8	96.9																																																												
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 4か月・10か月・1歳6か月・3歳の乳幼児とその保護者	⇒																																																														
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 子どもの成長発達を確認し、必要な支援や受診勧奨、相談等を行うことで、子どもが健やかに育つ。	⇒																																																														

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等	受益者負担等					
一般財源		合計(A)	9,922	9,262	10,121	8,927	8,927	8,927
(内臨時・嘱託職員人件費)			3,136	3,050	2,596	1,079		
正職員人件費[按分](B)			3,905	7,201	6,990	5,875		

トータルコスト(A)+(B)	13,827	16,463	17,111	14,802	8,927	8,927
----------------	--------	--------	--------	--------	-------	-------

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
昭和36年に3歳児健康診査、昭和48年に乳児(1歳未満)健康診査、昭和52年に1歳6カ月児健康診査が法律で義務づけられたことによる。	対象者については、母子保健法に基づき実施している。近年出生数の増加に伴い、3歳児健診の健診時間の延長が問題になっている。そのため、H23年度より3歳児健診の健診回数を年12回から年18回に増加した。また、乳幼児虐待防止関連の視点からも乳幼児健診未受診者対策の必要性を訴えられており、他事業(乳幼児虐待予防事業)と関連させて実施している。	住民からの要望(住民アンケートより)で、今年度から兄弟児の託児を実施した。母親からは、落ち着いて健診を受けることが出来たとの意見があった。また、「思っていたより早く終わり良かった。」「なかなかゆっくり相談や話ができる機会がなかったのが良かった。」という声が聞かれている。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	平成28年度は、3歳児健診の人数が偏らないように年15回で実施する。兄弟児の託児も引き続き行い、より受診しやすい健診体制を整えていく。・健診率が低い1歳6カ月健診については、未受診者に訪問を実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	乳幼児健診・相談事業を実施することにより、子どもの成長・発達の確認や、必要があれば早期受診をすすめ、子どもが心身ともに健やかに育つための役割は大きいと考えられる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	母子保健法で規定されている。また、子どもが健やかに育つためには、発育・発達の確認の場は必要であり、必要な場合は受診や相談につなげることにより、子どもの健やかな成長を促す役割もあり、町の義務であると考えられ、税金を使う目的としては妥当である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	朝の順番取りや、流れの改善をすることで、1人当たり約1時間半で健診全体の流れが終るようになった。平成28年度は、3歳児健診の人数が偏らないように年15回で実施する。兄弟児の託児も引き続き行い、より受診しやすい健診体制を整えていく。
④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	母子保健法で規定されており、廃止はできない。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	健診を実施するにあたり、人件費や物品にかかる費用は削減することは出来ない。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

職員の異動等で職員だけで体制を安定的に運用できない現状をみると個人委託保健師で、ある程度の精度管理を維持し、継続的な支援の安定を図ることは重要になってきている。事業を担う専門職の育成も図りつつ、運営していくことの大切さを感じた一年でした。

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	